

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年3月27日～4月2日)

平成 26 年(2014 年)4 月 4 日

H E A D L I N E S

政治

コモロフスキ大統領が地方裁判所の再設置に関する法案に署名
 トウスク首相がモルドバを訪問
 ビショップ豪州外相がポーランドを訪問
 米空軍C-130部隊のローテーション展開訓練開始
 ミハウォフスキ大統領府長官がウクライナを訪問
 シコルスキ外相がワイマール・トライアングル外相会合に出席
 NATO外相会合開催
 マルグヴェラシヴィリ・グルジア大統領がポーランドを訪問
 トウスク首相がプトケビチュウス・リトアニア首相と会談
 チェッキ・トルコ国会議長がポーランドを訪問

経済

世界銀行がポーランドの大型プロジェクトに資金拠出方針
 2月の輸出は引き続き増加
 倒産件数は減少傾向
 3月のPMIは54.0ポイントに低下
 富裕層が増加
 Grycan が新市場を開拓
 ポーランドの家電生産高は欧州第1位
 ポーランド国内のアルストム社鉄道車両工場からサウジアラビア向けに供給
 オペル社は2015年までにポーランド市場で第3位を目指す方針
 ガス貯蔵容量は2023年までに33億m³に達する予定
 PGNiG社がシェブロン社とシェールガス開発で合意
 ヤマル・ガス・パイプラインの逆送汽が4月1日から可能に
 ポーランドの電力価格はドイツよりも高価なため輸入が増加
 トウスク首相が欧州エネルギー連合の形成を提唱
 グーグル社がワルシャワ大学と研究室を開設

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成 26 年度前期分)
 大使館広報文化センターの開館時間延長について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000
http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となりません。
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政	治
内	政

コモロフスキ大統領が地方裁判所の再設置に関する法案に署名【31日】

31日、コモロフスキ大統領は、2013年1月にゴヴィン法相(当時)が廃止した地方裁判所の大半を

再設置する大統領法案に署名した。同法によって最大58の地方裁判所が再設置されることになる。コモロフスキ大統領は、同法は多くの地方コミュニティの裁判所へのアクセスを改善する旨述べた。

外	交
---	---

トウスク首相がモルドバを訪問【28日】

28日、トウスク首相はモルドバを公式訪問し、レアンカ首相と首脳会談を行った他、ティモフティ大統領表敬及びコルマン国会議長との会談を行った。トウスク首相は、レアンカ首相との会談後、これまでのようにモルドバ国民の連合協定署名に向けた決心が固ければ、誰よりも早い署名の実現を期待できる旨述べ、同国の親欧州路線に対する明確な支持を表明した。

とウクライナ問題を中心に協議した。3カ国外相は、同会合後に発出された共同声明にて、現在のウクライナを巡る危機への深い懸念を表明し、EUがウクライナの情勢安定化に向けて更なる一歩を進める必要がある旨強調した。

ビショップ豪州外相がポーランドを訪問【28日】

28日、ビショップ豪州外相がポーランドを訪問し、シコルスキ外相と外相会談を行った。両外相は、二国間貿易関係及びウクライナ情勢等に関して意見交換を行った他、両国間のワーキング・ホリデー協定に署名した。

NATO外相会合開催【1～2日】

1～2日にブリュッセルにおいてNATO外相会合が開催され、シコルスキ外相が出席。ウクライナ情勢を受け、今後のNATOの対応策について協議すると共に、仏・独・ポーランドの3カ国外相が合同でウクライナ情勢の安定化に向けた共同声明を発表。またシコルスキ外相はNATOによる中・東欧加盟国への軍事プレゼンスの強化が必要である旨発言。

米空軍C-130部隊のローテーション展開訓練開始【29日】

29日、独・ラムシュタイン基地所属の米空軍C-130J輸送機3機がポヴィッツ基地に到着。以後、2週間に渡りポーランド空軍と共同訓練を実施する予定。なおウクライナ情勢に対応し、米空軍F-16部隊が3月中旬以降、ワスク基地に展開しているが、今回のC-130部隊の訓練は当初から計画されていたもの。

マルグヴェラシヴィリ・グルジア大統領がポーランドを訪問【2～3日】

2～3日、マルグヴェラシヴィリ・グルジア大統領がポーランドを訪問し、2日にコモロフスキ大統領と首脳会談を行った。コモロフスキ大統領は、会談後に、ポーランドはグルジアのEU及びNATO加盟に向けた熱意を一貫して支持している、できる限り早期にEU・グルジア連合協定に署名を行うことが重要である旨述べた。

ミハウフスキ大統領府長官がウクライナを訪問【31日】

31日、ミハウフスキ大統領府長官がキエフを訪問し、フロイスマン・ウクライナ副首相及びデシチーツァ外相代行と会談を行った。本件訪問は、3月20日のフロイスマン副首相のポーランド訪問の際に取り上げられたウクライナの地方自治改革に対するポーランドの支援に関する協議を継続する目的で実現した。

トウスク首相がプトケビチュウス・リトアニア首相と会談【2日】

2日、EU・アフリカ首脳会合出席のためにブリュッセルを訪問中のトウスク首相は、同地にてプトケビチュウス・リトアニア首相との会談を行い、リトアニアにおけるポーランド系少数民族の問題に関して意見交換した。トウスク首相は、このような重要案件は可及的速やかに解決されなければならない、我々はリトアニア国民が欧州評議会の認める基準を遵守して少数民族をめぐる状況を改善することを期待している旨述べた。

シコルスキ外相がワイマール・トライアングル外相会合に出席【3月31日～4月1日】

31日～1日、シコルスキ外相は独ワイマールで開催されたワイマール・トライアングル外相会合に出席し、シュタインマイヤー独外相及びファビウス仏外相

チチェッキ・トルコ国会議長がポーランドを訪問【2日】

2日、チチェッキ・トルコ国会議長がポーランドを訪問し、コパチ下院議長、ボルセヴィチ上院議長と会談し、コモロフスキ大統領を表敬訪問した。同国会議

長のポーランド訪問はポーランド・トルコ外交関係設立600周年に際するものであり、ポーランド側との間で二国間関係及びトルコのEU加盟の展望等につ

き意見交換が行われた。また同日、ポーランド下院は外交関係設立600周年を記念する特別決議を採択した。

経 済

経済・財政政策

世界銀行がポーランドの大型プロジェクトに資金拠出方針【31日】

世界銀行の民間投資部門である国際金融公社(IFC)は、ポーランドでの250万ドル以上の大型インフラ開発プロジェクトに長期間の資金拠出を行う。IFCは、ポーランドが2004年にEUに加盟する前

の1993年から2003年までポーランドで事業を行っていたが、再度ポーランドで事業を行うこととした。同機関はまた、教育、私立学校、健康保護、農業、自動車産業及びエネルギー部門への支援も検討している。

マクロ経済動向・統計

2月の輸出は引き続き増加【1日】

2月の輸出総額は132億ユーロとなり、前年同月比で1月の同10.6%増より増加の割合は少なくなったものの6.7%増であった。前月比では、1月の同15.8%増から2.4%減に減少した。今後、対ウクライナ及び対ロシア輸出が減少することが見込まれることから、他の中東欧諸国への輸出の占める割合が増加し、2月～4月の輸出は前年同月比で引き続き5.4%増加すると予想されている。2014年通年での輸出総額は1,701億ユーロで前年同月比9.6%増、2014年は1,913億ユーロで同12.5%増との予測が出ている。

5.9ポイントから54.0ポイントに減少した。PMIが低下するのは過去11カ月間で2回目で、前月は過去38カ月間で最も高い数値であった。PMIは2013年7月より基本的に上昇基調であるが、新規受注が伸びていないことから輸出の増加率も減少すると見られ、インフレ圧力は2カ月連続で再び後退している。

倒産件数は減少傾向【2日】

3月の倒産件数は、前年同月の74社より減少した64社となった。取引総額は12億ユーロ、解雇者数は2,600人となっている。1月～3月の累計でも、前年同期の240件より大幅に減少した198件となっている。

富裕層が増加【2日】

KPMGの調査によれば、年間8.5万ズロチ(約290万円)以上の収入があるポーランド人の数が増加している。2008年は57.4万人であったが、昨年には約78.6万人に達し、大幅に増加している。2016年までに100万人に達すると見られている。しかしながら、西側諸国と比較すると富裕層の数は依然として少ない。ポーランドでは月収が5千ズロチ(約17万円)を超えると裕福であると思なされるが、ベルギーの平均月収は約8千ズロチであり、ドイツは9千ズロチである。更に、大富豪の人数はポーランドでは約4.5万人と試算されているが、ドイツは約170万人、フランスは約220万人である。

3月のPMIは54.0ポイントに低下【2日】

2月の購買担当者景況指数(PMI)は、2月の5

ポーランド産業動向

Grycan が新市場を開拓【27日】

アイスクリームを製造・販売している Grycan 社は、2013年にチェコ市場に参入したが、今年は中国及びドイツ市場に参入する予定。既にテスト販売は終えており、結果は良好だった。英国市場への参入も予定されている。Grycan 社のスノプロフスキ氏は、これまで50カ国から販売を働きかけられたが、急拡大するのではなく、徐々に開拓していきたいとしている。国内では現在、50都市に123店のアイスクリーム店を展開しており、今後年間10店のペ

ースで拡大していく方針。

ポーランドの家電生産高は欧州第1位【28日】

Infomarket 社の試算によれば、ポーランドの家電製品の生産高は140億ユーロに上り、欧州最大となった。ポーランドは2000年以来、生産高を6倍に拡大している。

ポーランド国内のアルストム社鉄道車両工場からサウジアラビア向けに供給【31日】

アルストム社のホジュフ(Chorzow, ポーランド南部カトヴィツェ近郊)工場は、中東欧初の自動運転式地下鉄車両をブダペストの地下鉄に2006年の契約以来37編成供給した。アルストム社は生産を西欧諸国からポーランドへと徐々に移しており、最近では、60億ユーロのサウジアラビア向け地下鉄車両供給契約に基づく車両生産の一部をポーランドで行うとしている。2017年までにホジュフ工場は、50℃の気温に耐えられる69両の自動運転式車両を供給する必要がある、アルストム社は1,200万ズロチ(約40億円)を同工場に投資することを予定している。1990年代以来、同社は2.7億ズロチを同工場に投資してきた。

オペル社は2015年までにポーランド市場で第3位を目指す方針【3日】

3月のオペル社のポーランドでの乗用車・商用車販売台数は2,507台で、前年比57%増だった。3カ月連続で月間2,000台以上を販売しており、第1四半期の販売台数は6,942台となった。Corsa, Astra, Insignia といったモデルが人気となっている。GMポーランド社は、年間2.6万~2.7万台をポーランドで販売したいとしており、2015年までに販売第3位となることを期待している。2013年の販売台数は約2万台だった。

エネルギー・環境

ガス貯蔵容量は2023年までに33億m³に達する予定【27日】

PGNiG社のクレラ副社長によれば、ポーランドの合計ガス貯蔵容量は2013年の21億m³から2014年には24億m³に拡大する。計画では、2023年までに33億m³まで増加させることを見込んでいる。

PGNiG社がシェブロン社とシェールガス開発で合意【1日】

PGNiG社(ポーランドの国有石油・ガス会社)とChevron Polska Energy Resources社は、ポーランド南東部の4つのシェールガス権益(両社が各々2権益を所有)での探査協力に合意した。今後探査井の掘削等を共同で行う。今回の協力により、コスト削減、リスク分散及び探査作業の迅速化、更には、ポーランドのシェールガス鉱床の埋蔵量の試算プロセスの迅速化が図られる。

ヤマル・ガス・パイプラインの逆送気が4月1日から可能に【2日】

ヤマル・ガス・パイプライン(ロシアからベラルーシ及びポーランドを経由してドイツに接続)を通じてドイツからポーランドに天然ガスを送気することが4月1日から可能となった。年間最大55億m³を輸入することが可能となる。これにより、仮にベラルーシ及びウクライナを経由したガス供給が遮断されても、代わりにドイツからガスを輸入することがこれまでよりも容易になる。現在もドイツからガスを購入することはできるが、実際のガスは東側から送気されていた。

ポーランドの電力価格はドイツよりも高価なため輸

入が増加【2日】

2014年第3四半期のドイツの電力価格は136ズロチ/MWhだったが、ポーランドでは168ズロチ/MWhだった。かつてポーランドは安価な電力をドイツに供給してきたが、2009年から2010年にはポーランドの電力価格が安価なのはピーク時間帯のみとなり、2012年にはドイツ向け輸出は僅かな量となった。依然絶対量は少ないものの、近年はドイツからの電力輸入は増加傾向にある。専門家は再生可能エネルギー源への投資により、ドイツのような国々の電力価格は更に安価になる可能性があるとは指摘している。

トウスク首相が欧州エネルギー連合の形成を提唱【2日】

トウスク首相は、ウクライナ情勢に鑑みてロシアへのガス依存を低減すべく、EUはエネルギー連合の形成を目指すべきと主張している。特に、①域外からのエネルギー資源調達に係る共同交渉、②供給遮断に備えた域内供給網の接続強化、③エネルギー・インフラの開発に対するEU基金の割り当て(総コストの75%まで)、④域内で採掘可能な化石エネルギー源(主に石炭、シェールガスを念頭)の最大限の利用、⑤ガス・石油の調達先多様化(特に米国)及び⑥EU周辺国のエネルギー安全保障の確保の6点を強調。この観点から、6月に欧州委員会が欧州理事会に報告する予定の対外エネルギー依存度を引き下げるための包括的な計画への期待感を示すとともに、上記を主な内容とするポーランドの考え方を示すことを示唆している。また、EU加盟国からの支持を得るべく、ブラッセルでの積極的な外交活動を開始したことを表明している。

その他

グーグル社がワルシャワ大学と研究室を開設【3日】

ワルシャワ大学はデジタル・エコノミー研究室(D E Lab)と称する学際的ユニットをグーグル社と開始した。グーグル社から10億ドルが資金手当てされる。経済科学学部, 数学学部, コンピューター科

学学部及び機械学部, 更に数学及びコンピュータ化モデリングセンターの共有プロジェクトとなる。DE Labのスタッフは、ポーランド及び中東欧地域のICTの発展の変遷について研究する。初年度は、「知的経済」及び「将来の仕事と能力」の2つのプログラムが実施される。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間延長について

毎週月曜日の開館時間を19時まで延長しています。火曜日から金曜日までは、従来どおり9時から17時までのご利用となります。

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【予定】第4回国際新極真空手選手権大会【4月5日(土)】

コビエジツェ市にて、コビエジツェ市文化スポーツセンター主催による、第4回国際新極真空手選手権大会が開催されます。

開催場所: Hala Sportowo-Widowiskowa, ul. Debowa 20, Kobierzyce

問い合わせ先: Eメール: biuro@kultura-kobierzyce.pl; 電話: 71 3111-200

【予定】ポーランド相撲選手権大会【4月6日(日)】

ワルシャワ市ファレニツァ区にて、ポーランド相撲協会による相撲大会が開催されます。

開催場所: OSiR, ul. Poezji 5, ワルシャワ市

詳細: www.sumo.org.pl

【予定】第16回ワルシャワ経済大学日本デー【4月8日(火)～10日(木)】

ワルシャワ経済大学にて、日本デーが開催され、日本に関する講演及び映画上映などが行われます。

開催場所: SGH, al. Niepodleglosci 162, ワルシャワ市

詳細: www.sgh.waw.pl

【予定】水曜映画上映会【4月9日(木)】

当館広報文化センターにて、山崎貴監督作品「三丁目の夕日 '64」が上映されます。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

問合せ先・開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】大山空手選手権大会【4月12日(土)～13日(日)】

アンドリホフ市にて、マウオポルススキ空手クラブ、アンドリホフ市の共催による、空手選手権大会が開催されます。

開催場所: Hala Sportowa Gimnazjum nr 1, ul. Daszyńskiego 14, アンドリホフ市

問合せ先: Eメール mkk@mkk.wer.pl 電話 602 444 306

【予定】「砂の女」演劇【4月24日(木)】

ウヅ市にて、ウヅ音楽劇場主催による、安倍公房の小説「砂の女」に基づいた演劇の初演が行われます。

開催場所: Teatr Muzyczny w Lodzi, ul. Polnocna 47/51, Lodz

詳細: <http://teatr-muzyczny.lodz.pl/content.aspx?cmsId=1940>

問い合わせ先: bow@teatr-muzyczny.lodz.pl

【予定】第8回日本デー【4月26日(土)～27日(日)】

ウヅ市にて、ウヅ大学経済社会学部主催による、日本文化デーが開催され、日本に関する講演や日本武道のデモンストレーションが予定されています。

開催場所: ウヅ大学経済社会学部, ul. POW 3/5, Lodz

詳細: http://www.yakumo-goto.pl/index_jp.html

【予定】欧州相撲選手権大会【4月26日(土)～27日(日)】

ワルシャワ市ファレニツァ区にて、ポーランド相撲協会による欧州相撲選手権大会が開催されます。

開催場所: OSiR, ul. Poezji 5, ワルシャワ市

詳細: www.sumo.org.pl

【開催中】「松、鶴、富士山」屏風展示【1月28日(火)～4月13日(日)】

クラクフ日本美術技術博物館「マンガ」にて、日本の屏風展示「松、鶴、富士山」を開催中です。

問合せ先・開催場所: 「マンガ」日本美術技術博物館(住所: ul. Konopnickiej 26, Krakow, 電話: 12 267 37 53, Eメール: muzeum@manggha.krakow.pl, ホームページ: <http://www.manggha.krakow.pl/>)

【開催中】「南蛮展」【3月20日(木)～4月19日(土)】

クラクフ国立博物館にて、ヨーロッパ美術の影響を受けた16～17世紀の日本のキャビネット、鐔等を紹介する「南蛮展」が開催中です。

問合せ先・開催場所: クラクフ国立博物館, Plac Sikorskiego 6, Krakow, 電話: 12 433 55 00

詳細:

[http://www.muzeum.krakow.pl/Exhibitions.215.0.html?&L=1&cHash=05c787567bcd7bd68c760054fd0868eb&tx_ttnews\[backPid\]=27&tx_ttnews\[tt_news\]=6600](http://www.muzeum.krakow.pl/Exhibitions.215.0.html?&L=1&cHash=05c787567bcd7bd68c760054fd0868eb&tx_ttnews[backPid]=27&tx_ttnews[tt_news]=6600)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmail@wr.mofa.go.jp)

